

農地を守り、未来につないでいくために

山添村農業委員会

1. 山添村の農業の概要

山添村は、奈良県の東北端、大和高原と呼ばれる地域の一角で、東部は三重県伊賀市及び名張市に、北部及び西部は奈良市に、南部は宇陀市に隣接しています。

地勢は概ね西部が高く標高、120～620mで起伏とゆるやかな傾斜地が多い隆起準平原となっています。面積は66.56km²で約65%を山林が占め、山あいから発した流れは木津川に注いでいます。それに沿って集落と農地が点在し農林業を主産業としながら発展してきた農山村です。

2. 農業委員会の取り組み

① 農業委員の意見交換会を実施

今年度から新たな取り組みとして、農業委員会総会終了後、農業委員相互の交流や活動に繋げていけたらとの思いから、毎月2名ずつ“農”をテーマとして意見交換会を実施しています。5年後、10年後の山添村の農業を考えて行く上で、何が重要・大切なのか現状を把握し、『どのような課題があるのか』、『何が問題なのか』意見を出し合っています。今後これらを元に、一歩進んだ地域にあった活動をしていけたらと考えています。



意見交換会の様子

② 課題

中山間地域であるため、近年特に有害鳥獣の被害が一番の課題となっています。昨年、農業推進協議会と連携して「獣害から集落を守る」と題して講演会及び実地指導を実施しました。防除施設の設置や研修会でのアドバイスを取り入れながら、農業者の方の努力により本年度は少しずつですが、減少してきているようです。



農地パトロール実施風景

③ 「人・農地プラン」への取り組み

今年度から新たに始まった「人・農地プラン」は人と農地の問題を解決するための未来の設計図です。地域の農業、農地の管理、利用調整に責任を持つ、農業委員会にとっても重大な取り組みです。地域で頑張る農業者を育て、農地を安心して任せられ、地域が元気になるよう進めていくことが課題となっています。村内では現在、農業委員を中心に「人・農地プラン」を7地区で策定しました。この取り組みが全村に広がり、村の農地、農業が守られていくきっかけとなることを願っています。

